

# 平成 30 年度第 3 回国民健康保険運営協議会 議事録

日 時 平成 31 年 3 月 27 日（水）午後 6 時 30 分～午後 7 時 40 分

場 所 富良野市役所 3 階 第三会議室

出席者 人

（委員） 10 人 角谷委員、藤岡委員、刑部委員、福田委員、黒岩委員、大内委員、大門委員  
段委員、大西委員、早川委員

（欠席：小山内委員、栗野委員）

（市） 8 人 北市長、山下部長、関澤課長、清水課長、高田主幹、稲葉課長、大木主査  
齊藤職員

## 1. 開 会（関澤市民課長）

## 2. 市長あいさつ（北市長）

国民健康保険は昨年 4 月から新たな制度としてスタートし、その折にも手続き・基準について見直しが行われてきたが、平成 31 年度は賦課限度額の改正で医療分 58 万円から 61 万円、後期高齢者、介護分と合せまして 96 万円と増額となる諮問をすることになった。

国民健康保険の状況は、この 10 年間で 70 歳以上の人口がおよそ 1.3 倍、そして医療技術の高度化に伴い医療費も 1.3 倍と増加している。この医療費を支える保険や税金の負担も同様に増加している状況であり、団塊の世代全員が 75 歳を迎える 2025 年には全国の医療の総額は 62 兆円にもなる見込みも出されている。医療保険の最後の砦と言われている国保の課題を解決していく取り組みがますます重要になってくる。

本日は報告事項を含め提案を行うが、富良野の住民に資す協議を進めていただきますようによろしくをお願いしたい。

## 3. 会長あいさつ（早川会長）

国民健康保険は国民皆保険制度の中軸を持続的に担うために昨年 4 月に都道府県と市町村の共同運営に移行した。北海道においても新たな制度運営に向けて北海道国民健康保険運営方針を策定している。新制度がスタートしたが、道内では市町村間の所得や医療費の格差が大きく、今後保険料の水準の平準化に向けて課題は山積みとなっている。

本日は報告 5 件と国民健康保険税条例の一部改正の諮問事項が 1 件あるので、ご審議よろしくをお願いしたい。

## 4. 会議録署名委員

大門委員、福田委員を指名

## 5. 報告事項

### 第1号 国民健康保険事業一般経過報告

事務局（関澤市民課長）より議案により報告  
質疑なし・承認

### 第2号 平成30年度国民健康保険特別会計決算見込み

事務局（関澤市民課長）より議案により報告  
質疑なし・承認

### 第3号 平成31年度国民健康保険特別会計予算

事務局（関澤市民課長）より議案により報告

質疑 大西委員

歳入の道支出金の特別交付金の内訳を教えてください

回答 事務局（関澤市民課長）

各市町村の国保事業に対する取り組みや評価に対して交付され、国民健康保険税収納率、特定健診受診率・特定保健指導実施率、医療費水準が低い、保険者努力支援制度などがある

質疑 大西委員

保険者努力支援分も入っているのか

回答 事務局（関澤市民課長）

入っている

承認

### 第4号 平成31年度国保事業費納付金算定結果等について

事務局（関澤市民課長）より議案により報告

質疑 大門委員

この資料では富良野市の負担が増えることになるが、どうにかアプローチして下がるといえることはあるのか

回答 事務局（関澤市民課長）

北海道国保運営方針は平成30年度に策定され今後の協議の方向が示されている。保険事業納付金は今後6年かけて段階的に算定方法を変えていく協議がされており富良野市だけの負担を下げることは難しい。医療費水準を下げることや各種取り組みによる北海道からの特別交付金を受けることで国民健康保険税の税率を上げないようにつなげる。

質疑 福田委員

保険料水準の統一ということだが納付金の一人当たり負担額の市町村ごとのデコボコがないようにもっていくのか

回答 事務局（関澤市民課長）

北海道国民健康保険運営方針では保険料水準の統一をめざしている、保険料率の統一とはなっていない。市町村ごとの医療費水準の差は反映させず、所得水準は反映させる。富良野市は全道平均より医療費水準は低く、所得水準は高いので両方の要素で負担が増えることになる。市町村ごとの負担のデコボコは平成 36 年度までの算定方式の変更ではなくなる。

承認

第 5 号 平成 30 年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況について

事務局（稲葉保健医療課長）より議案により報告

質疑なし・承認

6. 協議事項

諮問第 1 号 富良野市国民健康保険税条例の一部改正について

事務局（関澤市民課長）より議案により提案

質疑なし・承認

7 その他

なし

8 閉会（関澤市民課長）